

## 高圧用ゴム製防振継手 施工要領書

## ZRJ-HD

Z 株式会社

## 施工手順

## 1. 作業前の確認

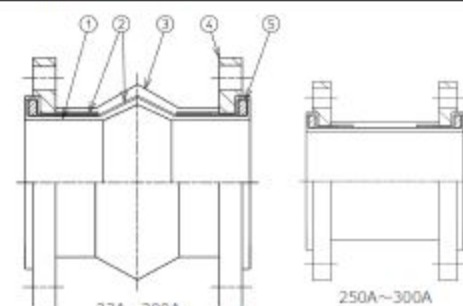


表1 部品表

| 品番 | 部品名     | 材質            |
|----|---------|---------------|
| 1  | 内貼ゴム    | 合成ゴム          |
| 2  | 補強繊維    | 合成繊維          |
| 3  | 外貼ゴム    | 合成ゴム          |
| 4  | フランジ    | SS400, SUS304 |
| 5  | ソリッドリング | SS400         |

施工前に次の事項についてご確認ください。

- 口径が適正なものであるか
- シール面に損傷が無い
- ゴム本体の内外面に損傷が無い

## 2. 配管への取り付け

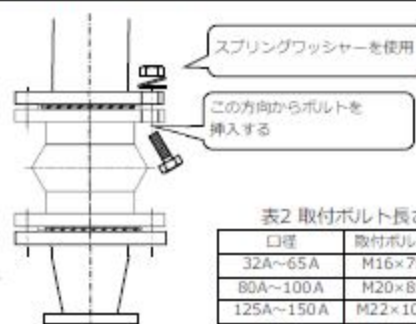


表2 取付ボルト長さ

| 口径        | 取付ボルト長さ   |
|-----------|-----------|
| 32A~65A   | M16×75mm  |
| 80A~100A  | M20×85mm  |
| 125A~150A | M22×100mm |
| 200A      | M22×120mm |
| 250A~300A | M24×130mm |

表2はJIS20KF・平座金、ばね座金なしの長さです。ご使用する座金の厚みを加算して下さい。

- ① 取り付け前に、配管側フランジ及びゴム本体シール面のごみをウエス等で拭き取り、異物が無いことを確認して製品を配管フランジ間にセットして下さい。
- ② 製品側から配管側へ向かって、セットボルトを挿入して下さい。また、ナットの緩みを防止するため、スプリングワッシャーを使用して下さい。

## 3. ボルトの締め付け



- ① ボルトは対角線に均等に締め付けて下さい。
- ② 反対側のフランジも同様に締め付けて下さい。
- ③ SUS製ボルト・ナットを使用する場合は、ねじ部に焼付け防止剤を塗布して下さい。

締め付けの目安となる締め付けトルクは表3の値を参考に下さい。

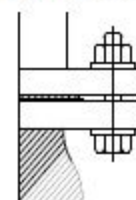
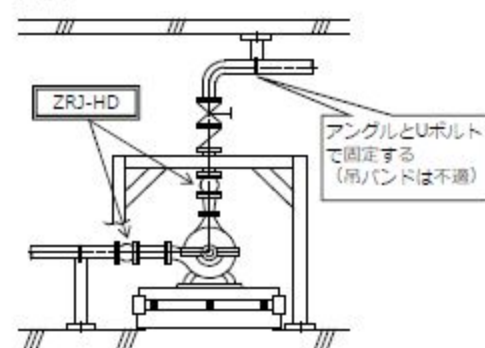


表3 締め付けトルク

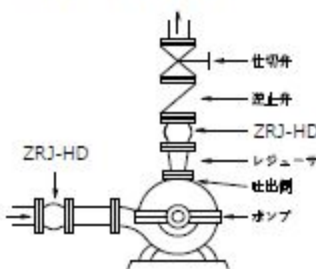
| 口径        | 締め付けトルク |
|-----------|---------|
| 32A~80A   | 50N・m   |
| 100A~125A | 60N・m   |
| 150A~200A | 70N・m   |
| 250A~300A | 80N・m   |

⚠ フランジ面が平行である事を確認の上、締め付けて下さい。

## 設置例



ポンプ廻りの吐出側については、レジューサ、製品、逆止弁、仕切弁の順に取り付けて下さい。



## ⚠ 注意事項

- 給湯用には使用できません。弊社AV・JOINT 20K仕様をご使用下さい。
- プール循環用水ポンプや特殊液体(薬液等)には使用できません。
- ボルトの締め付けの際は、対角線に均等に締め付け、片締め・締め込み過ぎにならない様に施工願います。
- ゴム製継手はご使用条件によって耐用年数が低下することがあります。詳しくはカタログの注意事項をご確認ください。
- 屋外配管で使用する場合、紫外線によるゴムの劣化を防止するために、カバーを掛ける等の処置を行って下さい。
- 配管の溶接作業は、フレキ取り付け前に施工して下さい。やむを得ず製品取り付け後に溶接や溶断をする場合は、溶接電流が流れないよう、適正なアースをとり、製品に保護カバーを被せて下さい。
- 高濃度のオゾンに晒される環境下では、オゾン劣化によって表面に亀裂が発生することがあります。その場合は、ゴム製品ではなくステンレス製品の選択を推奨致します。